

《 5月16日～31日の国内外外国為替市場動向 》

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/05/16 (月)	東京は小動きながらもドル底固い。休日中のFRB議長の辞任発言も足枷にならず。欧米は円が対ドル中心にユーロでも強含み。米経済指標の悪化が結果として円買いに寄与していた。	・3月経常収支1兆8511億円 ・3月の対米証券投資457億円の買い越し、5月のNY連銀製造業景気指数▲11.1 ・米有力調査会社が人民元に関するレポート送信のウラシ	・FRB議長「任期満了後は私も職探しをする」(15日) ・小泉首相「靖国参拝いつ行くかは適切に判断」 ・中国首相「人民元改革は中国の主権の問題」	107.46	135.44	寄付
				106.70	134.91	安値
				107.79	135.93	高値
				106.75	134.94	終値
05/05/17 (火)	東京は円安。GDPの好数字も反応鈍く、むしろ日本株売却にともなう資金流出が懸念されていた。為替報告書に対する失望などから円も連れ安気味。この日の最安値圏で大引け。	・第1四半期GDP前期比1.3%、年率5.3% ・4月の米PPI0.6%、同住宅着工件数203.8万戸、同鉱工業生産▲0.2%、同設備稼働率79.2	・ユーロFRB理事「長期インフレ期待は依然抑制されている」 ・米財務省為替報告「中国は通貨操作国に該当せず」 ・米財務長官「中国に完全変動相場制への移行を要求せず」	106.58	134.56	寄付
				106.57	134.54	安値
				107.55	135.66	高値
				107.53	135.56	終値
05/05/18 (水)	東京は一時円安に振れるも結局行っ来い。人民元絡みで声明発表とのウラシが円買いに寄与。欧米は一転してドル安。香港ドルの制度変動を受け人民元の切り上げ近いなどとのウラシも聞かれていた。	・香港が7.75-7.85のバンド制に移行すると発表、と同時に大規模介入も ・ラムリッチFRB理事が8月末で退任 ・4月の米CPI0.5%	・日経新聞「日銀、量的緩和残高目標、下限割れ容認協議へ」 ・中国首相「中国は世界のルールに従って人民元などの問題に対処」	107.54	135.43	寄付
				106.75	135.25	安値
				107.79	135.93	高値
				107.00	135.67	終値
05/05/19 (木)	東京は小動きのなかドル小じっかり。日経平均が今年最大の上げ幅を記録したが影響は限定的なものに。欧米に円は急落。新規の材料は乏しいものの、クロス中心に売り進まれて円は独歩安の様相に。	・4月の米景気先行指数▲0.2%、5月FF連銀指数7.3	・FT紙「韓国中銀総裁が介入しないと表明」(その後、同国国際局長などから否定発言も) ・FRB議長「ファニー・メイ、フレディマックの資産圧縮求める」	107.08	135.69	寄付
				106.95	135.47	安値
				107.69	136.10	高値
				107.64	136.09	終値
05/05/20 (金)	東京はレンジ内で揉み合い。日銀の金融政策がやや目を引いたがマーケットを動かすまでには至らず。欧米タイムにドルは急騰。欧州憲法に関する否定的な見方から対ユーロを中心にドル買いが進んだ。	・日銀が決定会合で金融政策の据え置きを決定、ただ「なお書き」で資金需給が極めて弱いと判断の場合、目標を下回することはありうる」と付随	・マレーシア第二財務相「マレーシアは通貨リンクの固定相場を変更しない」 ・FRB議長「人民元が切り上げられるという前提を受け入れる」「幾つかの事象が米住宅市場での小さなバブル発生を示唆」	107.67	136.01	寄付
				107.35	135.74	安値
				108.30	136.14	高値
				108.15	135.84	終値
05/05/23 (月)	東京はレンジ内での値動きながらも円が小高い。人民元の行方を睨みながらも円買いが優勢だった。欧米も小幅に円が続伸。材料と言うよりも投機筋などの利益確定のドル売り・円買いが活発に。	・小泉首相と中国副首相の会談がトランプ、靖国参拝が背景に?!	・WSJ紙「中国は人民元のバスケット通貨を検討中」 ・中国副首相「人民元改革は外部のいかなる圧力にも屈しない」 ・イッシグECB専務理事「石油価格や為替は非常に振れ易い」	108.20	135.82	寄付
				107.55	135.30	安値
				108.21	135.85	高値
				107.65	135.40	終値
05/05/24 (火)	東京で大引けに掛けて上昇。材料と言うより月末に向けたMSCIバランスなど需給要因が聞かれていた。欧米は基本揉み合い。ただドルは総じて底堅い。中古住宅販売やFOMC議事録などを好感した買いも。	・3月第三次産業活動指数▲1.0% ・5月の独ZEW景況感指数13.9 ・フィッチがGMなどをジャンク債へと格下げ ・4月の米中古住宅販売718万戸で過去最高	・ドイツ政府が70年ぶりのドル建て債券発行を発表(5年・50億ドル) ・FT紙「米財務省、人民元改革として中国に最低10%の目標提示」 ・FOMC議事録「全メバーが金利は低すぎるとの点で一致」	107.65	135.35	寄付
				107.23	135.07	安値
				107.77	135.62	高値
				107.65	135.45	終値
05/05/25 (水)	東京は円が小高い。シンガポールドルが強含みに推移したことから円が連れ高になった側面も。欧米は一転して再び円安に。人民元に対する思惑から円も連れ安。ただ原油高もありドルも買い難い。	・4月の貿易黒字は9628億円 ・5月の独IFO景況指数92.9 ・4月の米耐久財受注1.9%、同新規住宅販売131.6万戸	・SGP通貨庁「SGPドルの緩やかな上昇を容認する方針に変更なし」 ・仏首相「ユーロ/ドル相場は改善している」 ・中国国際貿易促進委員会「人民元気力上げの時期は来ていない」	107.54	135.09	寄付
				107.27	135.06	安値
				107.89	135.90	高値
				107.71	135.71	終値
05/05/26 (木)	東京はロンドンタイムズの報道を受けてドルが対ユーロ中心に急落。円も対ドルでは連れ安に。欧米は米GDPに対する失望もあり調整的なドル売り進む。ただユーロは依然として堅い。	・ロンドンタイムズ「仏与党党首がEU憲法を巡る国民投票はすでに敗北」(その後報道官から否定発言も) ・第1四半期の米GDP改定値3.5%、上方修正されるも予想は下回る	・スウェーデン財務長官「柔軟な人民元相場は国際不均衡是正に向けた中国の責務」「中国は柔軟な為替導入の用意が来ている、スウェーデンに実施すべき」 ・ハイスFRB理事「米長期金利、現在の低水準には留まらない」	107.75	135.82	寄付
				107.69	134.93	安値
				108.28	136.02	高値
				107.98	135.10	終値
05/05/27 (金)	東京はレンジ内で揉み合い。グ議長のウラシが一時相場に活気を与えるも3連休前で海外勢の動き鈍い。欧米は連休前で静か。米株などほかの金融市場も手控えムードでさながら開店休業状態に。	・FRB議長が近く北京を訪問する、とのウラシあり ・関東地方で近々大地震発生とのウラシも ・4月の米個人所得0.7%、同個人消費0.6%	・SF連銀総裁「低水準の米長期金利は依然として謎」 ・平野日銀理事「日本は緩やかなデフレがなお続いている」	108.03	135.16	寄付
				107.74	134.97	安値
				108.10	135.85	高値
				107.92	135.80	終値
05/05/30 (月)	東京は薄商いのなかユーロ独歩安。半ば織り込まれていると言われたが仏国民投票が材料視されていた。欧米でもユーロは下げ止まらず。投票結果に加え、仏大統領府の発表などもユーロ弱材料に。	・SGP、LDN、NY市場が休場 ・前日の仏国民投票でEU憲法否決される ・日本の主要生保が決算を発表 ・4月鉱工業生産2.2%	・WSJ紙「米商務長官が今週訪中へ」トランプ銀やBNPパリバなどが独逸マルツ銀買収を検討 ・仏大統領府「シラク大統領が31日にも内閣改造の発表」	108.13	135.35	寄付
				107.75	134.55	安値
				108.15	135.45	高値
				108.00	134.73	終値
05/05/31 (火)	東京でユーロはまたも続落。対ドルだけでなく対円などでも一本調子で下落でさながら独歩安の様相に。欧米でユーロは続落したがユーロ安と	・4月の失業率4.4% ・MSCI指数のリバランス実施される ・ラファラン仏首相が辞任、後任はドビル・バン内相	・福井日銀総裁「金融緩和政策解除を判断するにはCPIだけに頼らず」 ・ホルトガル中銀総裁「ファンダメンタルズを通じてユーロ安の修正可能」	107.90	134.66	寄付
				107.70	133.08	安値
				108.58	134.69	高値

	いうよりもドル高。悪化した米経済指標などを無視してドル高進む。	・5月の米消費者信頼感指数102.2、同月のPMI指数54.1	108.55	133.55	終値
--	---------------------------------	---------------------------------	--------	--------	----

*製作・著作「FXニュースレター」

URL; <http://www.fx-newsletter.com/>